

R01.6.10 第8回ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

(出席者)※委員(代理出席含む)のみ

【学 識】 中村教授(協議会会長)(日本大学工学部)

【産業界】 小野会長(協議会副会長)「(一社)福島県建設産業団体連合会」、長谷川会長「(一社)福島県建設業協会」、
小林理事「(一社)福島県測量設計業協会」、相良会長「福島県法面保護協会」、
佐藤会長「(一社)福島県地質調査業協会」、畠支部長「(公社)日本技術士会東北本部福島県支部」、
鈴木専務理事(福島県土木施工管理技士会)、伊藤専務理事「(一財)ふくしま市町村支援機構」

【官公庁】 種市副所長(国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所)、猪股部長(協議会副会長)(福島県土木部)

※委員総数13名のうち、代理出席を含め11名の出席



【会長挨拶】

中村教授 : 「ふくしまME」の取組は今年で3年目に入った。インフラの維持管理も人間の病気と同じように、「原因を特定し、適切な処置を実施する」ことが重要。

協議会として、原点に立ち返って進めていきたいと考えているので、皆様にはより一層のご協力をお願いしたい。

【委員委嘱】

中村協議会会長から猪股部長、長谷川会長へ協議会委員委嘱状を交付。

【会議結果】

(1) 報告事項については、資料1～4に沿って報告。

・(資料4関係)これまでは、点検・診断分野の講義内容が中心だったため、今年度は施工分野の講義内容を充実させていく。(中村協議会会長)

(2) ふくしまME(防災)、(保全)コースの募集要項(資料5)については、原案どおり承認された。

(3) ME認定者の更新条件(資料6)については、基本的な方針としては承認された。なお具体的な更新条件を事務局で検討することになった。

(4) ふくしまME(防災)、(保全)コース不合格者への対応(資料7)については、原案どおり承認された。

【委員発言】

鈴木専務理事 : 資格保有者数を増やす取組と資格者を活用するための具体的な取組を進める必要がある。

また、市町村への参加を促すため、市町村長への説明など、官学が連携して、市町村に対して浸透させる必要がある。

猪股部長 : 市町村への説明については、技術職員の有無など各市町村の状況に応じた取組が必要である。